

(組織活性化研修シリーズ①)

コミュニケーション力、問題解決力向上研修

社会保険労務士 佐藤信吾

(Tel 0956-39-3449)

企業をめぐる環境は急激に変化しています。しかし、その変化に対応できない企業は勝ち残っていきません。環境の変化に対応できるのは「モノ」でも「カネ」でもなく、「ヒト」の知恵と行動です。組織活性化の重要性はますます高まっています。

1人1人の力は極めて小さいものです。しかし、その小さな力でもそのうちの積極的なものを結合させるならば、計り知れない大きな力となることが可能です。まさに、組織の目的は「シナジー効果」を出すことです。

一方、組織とは1人1人違った感情を持った「ヒト」の集まりであるため、全体をまとまりのあるものにしていくためには、いくつもの困難が付きまといまいます。

「ヒト」が増えるため逆に効率が悪くなり、利益が上がらなくなることも少なくありません。しかし、このような状況では組織を作った意味がありません。

これは、組織が持つべき基本的な要件を満たしていないことが原因となっていると考えられます。

「組織論の父」といわれているアメリカのチェスター・バーナードは、組織が有効に機能するためには、「協働意志」(参画意識)と「共通の目的」(組織ミッション)、さらに「コミュニケーション」の3つの要素が必要であると論じています。

この研修では、組織活性化のためにはメンバー1人1人が組織ミッション達成に向けて積極的に参画するとともに、情報をメンバーと共有化することが重要であることを再確認するとともに、効果的なコミュニケーションスキルと問題解決スキルを習得することを狙いとしています。

(コンテンツ)

1. 企業を取り巻く環境の変化
2. 環境変化の影響
3. 組織の3要素
4. 効果的なコミュニケーションスキル
5. 身近な改善のための問題解決スキル
6. 組織ミッションを考える

『コミュニケーション力、問題解決力向上研修』カリキュラム

～組織活性化のために～

【本研修の狙い】

「組織を活性化させるためには、メンバー1人1人が組織ミッション達成に向けて積極的に参画するとともに、情報をメンバーと共有化することが重要である」ことを理解し、これからの具体的な成果行動(明日から・・・する)を自ら考える。

| 日 時 | 平成 年 月 日() |
|----------------------|---|
| | 4時間コース |
| 場 所 | 貴社会議室 |
| | |
| 時 間 | 研 修 内 容 |
| 13:00～13:10 (10分) | 開会挨拶 オリエンテーション |
| 13:10～13:50 (40分) | 講義Ⅰ ◎「組織とコミュニケーション」 企業を取り巻く環境の変化、環境変化の影響、組織の3要素 個人ワークⅠ ◎「コミュニケーション度チェック」 チェックリスト記入・整理・解説 |
| 13:50～14:00 (10分) | 休憩 |
| 14:00～14:50 (50分) | 講義Ⅱ ◎「コミュニケーション スキル」 傾聴のスキル、承認のスキル、質問のスキル |
| 14:50～15:00 (10分) | 休憩 |
| 15:00～15:20 (20分) | 講義Ⅲ ◎「問題解決」 問題とは、「なぜ」を3回、問題の発見、喜怒哀楽で考える |
| 15:20～16:20 (60分) | グループワーク ◎「問題解決演習」 テーマ設定・討議・まとめ・発表 |
| 16:20～17:00 (40分) | 個人ワークⅡ ◎「アクションプラン」 「私の部門のミッション」「明日から私は」シート記入 エンディング 研修全体を振り返って・まとめ アンケートの記入 |